

コマツナ・ホウレンソウの 3作1回施肥による施肥削減

露地野菜畑の葉菜類栽培(コマツナ及びホウレンソウ3作栽培)において、施肥効率の向上とともに施肥の省力化を図るために3作分の施肥を1作目の作付前に施用する方法を検討しました。

コマツナ及びホウレンソウの3作栽培においては、溶出日数の異なる被覆尿素を組み合わせるにより、収量・品質を落とすことなく、1回の施肥で3作の栽培が可能です。また、作付けする畦にのみ施肥(畦内施肥)を行うことにより施肥量を3割程度削減することができます。



被覆尿素肥料の畦内施肥

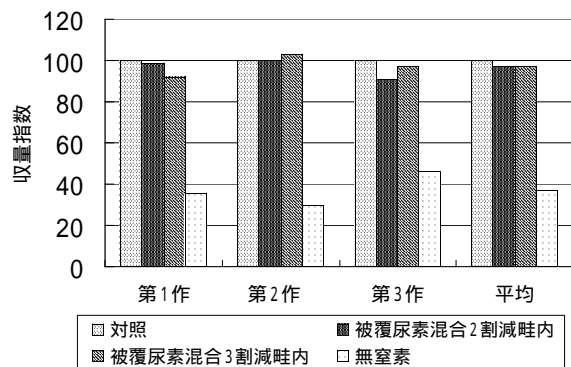


現地におけるコマツナの
3作1回施肥栽培

3作1回施肥の作付時期

	5月			6月			7月			8月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
栽培例1	●—● ホウレンソウ			●—● コマツナ			●—● コマツナ					
栽培例2	●—● コマツナ			●—● コマツナ			●—● コマツナ			●—● コマツナ		

春から夏にかけては被覆尿素を組み合わせた肥料の窒素成分は約100日の間に90%以上溶出するため、5月～8月にかけての栽培に適します。



現地におけるコマツナ3作1回施肥の収量指数

被覆尿素肥料と畦内施肥を組み合わせることにより、コマツナ3作分の窒素施肥量を3割削減した1回の施肥でも、速効性化成肥料を毎作施用する栽培とほぼ同等の収量を得ることができました。